

令和8年度 福祉保健活動拠点事業計画書・報告書

施設名

横浜市西区福祉保健活動拠点

事業計画・実績

1 場の提供について

(1) 場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

- ア 日常のコミュニケーションを通じて利用団体の活動状況や課題を把握し、職員間で共有する体制を維持します。
- イ 得られた情報をもとに区域ニーズや地域課題を団体へ伝え、双方向での情報共有を進めながら、活動支援と連携強化を図ります。
- ウ 新規登録団体については活動状況を把握し、必要に応じて関連事業と連携して支援します。また、団体のリーフレットやイベント情報を掲示し、活動周知と地域とのつながりづくりを促進します。

実績

(2) 拠点の利用促進に関すること

- ア より多くの団体に活用していただけるよう、ホームページ、広報紙、各種会議など多様な媒体を通じて拠点機能の周知を強化し、利用登録団体の増加と施設稼働率の向上を図ります。
- イ 利用希望者が必要な情報にアクセスしやすい環境を整備し、継続的な利用促進につなげます。

実績

平日	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	190	238	128	79%	99%	53%
多目的研修室	200	192	196	83%	80%	82%
点字製作室	136	163	102	57%	68%	43%
録音室	7	11	7	3%	5%	3%
対面朗読室	153	157	140	64%	65%	58%
	実績（利用件数）			実績（利用率）		
団体交流室						
多目的研修室						
点字製作室						
録音室						
対面朗読室						

土	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	31	50	16	61%	98%	31%
多目的研修室	33	40	28	65%	78%	55%
点字製作室	15	26	4	29%	51%	8%
録音室	1	2	1	2%	4%	2%
対面朗読室	21	36	6	41%	71%	12%
	実績（利用件数）			実績（利用率）		
団体交流室						
多目的研修室						
点字製作室						
録音室						
対面朗読室						

日祝	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	53	51		80%	77%	
多目的研修室	60	54		91%	82%	
点字製作室	45	26		68%	39%	
録音室	1	1		2%	2%	
対面朗読室	50	40		76%	61%	
	実績（利用件数）			実績（利用率）		
団体交流室						
多目的研修室						
点字製作室						
録音室						
対面朗読室						

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

ア 利用者の声を的確に把握し、誰もが安心して利用できる環境を整備するとともに、職員一人ひとりが利用者の立場に立った丁寧で迅速な対応を実践することで、満足度の高いサービス提供を目指します。

計画 イ グループウェアや業務日誌を活用した円滑な情報共有により、業務の質を継続的に向上させます。

ウ ホームページや館内掲示等を通じて最新情報を分かりやすく発信し、利用者が必要な情報を確実に得られるよう、情報提供体制の充実を図ります。

実績

(4) 利用調整会議等の開催

ア 拠点利用に関する課題や連絡事項を共有するとともに、利用団体同士の横のつながりを深め、課題共有・情報発信・相互理解を促進する場として利用調整会議を開催します。

計画 イ 利用調整会議等を通じて団体のニーズを的確に把握し、関連する地域活動やサロン等の情報を必要に応じて提供することで、利用団体の活動支援と連携強化を図ります。

実績

昨年度開催実績	今年度開催実績
令和8年2月13日	
昨年度参加団体数	今年度参加団体数
31団体 33名	

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

ア 分科会や各種会議に参加して得られた情報・意見を職員内で共有します。

計画

イ ボランティアセンターに寄せられた相談や昨今の社会の動向を分析し、ボランティア育成や課題解決につながる講座等を実施していくため、ボランティアセンター業務に携わる職員間でのミーティングを月1回実施します。

ウ ボランティア依頼および登録者を一覧にまとめ、地域ニーズの把握・分析に役立てます。また、地域や関係機関等へ情報提供します。

エ 区との連絡会議等を通じて、講座や会議等の予定を共有します。

実績

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

ア 広報紙の発行

ボランティア募集情報やボランティア関連情報を掲載する広報紙「花スイセン」を年4回発行し、ボランティア登録者、職員が参加する地域会議、公共機関等での配架などを通じて広く周知します。

計画

イ ホームページを活用し、ボランティア講座等の案内やボランティア募集情報をスピーディーに発信していきます。

ウ 拠点内の一画にボランティア情報コーナーを設置し、外部からのボランティア関連のチラシ等を含め、必要な情報を分かりやすく手に取っていただけるようにします。

実績

(3) ボランティアに関する相談、紹介

ア 登録・相談・紹介件数目標

※（ ）内はR7.4.1～R8.3.31の実績

登録人数 個人 新規 53人 (50人)

累計 240人 (238人)

団体 新規 10団体 (10団体)

累計 80団体 (96団体)

※登録更新のため団体数減少

相談件数 460件 (451件)

依頼件数 260件 (253件)

紹介人数 540人 (536人)

計画 調整数 1700件 (1746件)

イ 障害児者の移動支援に伴うボランティア相談については、移動情報センター部門と日々情報共有を図りながら、依頼者と活動者それぞれの情報を丁寧に聞き取り、マッチングに努めています。

ウ ボランティア依頼および登録者を分析し、地域ニーズの把握・分析を行います。

エ ボランティアセンターで受けた相談を地区の担当者にタイムリーに情報共有できるようにします。

実績

登録人数 (目標)	個人	新規	50
		累計	240
	団体	新規	10
		累計	80
相談件数			460
依頼件数			260
紹介人数			540
調整数			1700
登録人数 (実績)	個人	新規	
		累計	
	団体	新規	
		累計	
相談件数			
依頼件数			
紹介人数			
調整数			

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

ア 次のボランティア講座を実施します。

①ボランティア講座

ボランティアのニーズを把握し、ボランティア実践者やこれからボランティアを始めようとしている人が知識や技術を習得できる講座を開催します。

②ボランティア活動の促進

清掃活動ボランティアを含め、虚弱高齢者や障害の有無などに関わらず、誰もが気軽に参加しやすいボランティア活動の場をつくります。

計画

③次世代の担い手育成

小・中・高校生など青少年のボランティア活動を促進するためのイベントを実施します。

④ボランティア交流会

ボランティア同士が日頃の不安や悩みを共有し、他者の活動を知ることによって活動の幅を広げられるよう、ボランティア交流会を実施します。

イ ボランティア活動支援

ボランティアグループ等に対し、助成金の配分等を通じて活動の支援を行います。

実績

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

本会組織の分科会※などを活用し、地域団体や関係機関との交流・連携を図ります。また、地域ケアプラザ、にしく市民活動支援センター、地域活動ホーム、ガッツ・びーと西、生活支援センター西、西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」等との連携をはじめ、各団体を実施する会議や行事に積極的に参加します。

計画

区役所が開催する区連合町内会・自治会連絡協議会、区民生委員児童委員協議会に対し、依頼事項や情報提供など、区の担当部署と相談・連携しながら進めます。

以上の取り組みで把握した組織や地域の福祉ニーズについて、必要な組織と調整して対応します。

※本会組織の分科会は次のとおり

地区社協分科会、ボランティア・市民活動分科会、障害福祉関係分科会、

児童福祉関係分科会、高齢者福祉関係分科会

実績

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）の取組の浸透に努め、区役所・地域ケアプラザとともに、さまざまな世代の人やサポートが必要な人が地域社会の一員として活躍し、横につながりあうまちづくりを目指します。

計画

計画推進に取り組む団体等に対して、活動場所を提供するほか、ボランティア活動に関する相談を通じて、新たな活動者を地域活動につなげていきます。

当会会員の他、拠点利用登録団体にも、にこまちプランに関する情報を積極的に提供し、多くの団体と福祉保健課題について共有して、共に解決に取り組みよう関係構築を推進します。

実績

4 その他

(1) 職員体制、育成

ア 職員体制について

常勤職員 2人 （その他管理者1名が区社協業務との兼務）

非常勤職員 6人 （ボランティアコーディネーター業務2名、夜間、日曜・祝日対応4名）

計画

イ 職員の研修計画について（市社協人材育成計画に基づき）

①市社協の職員研修を活用し、接遇研修やプレゼン研修など積極的に参加します。

②ウィリング横浜等が実施する研修に積極的に参加します。

③非常勤職員との定期的なミーティングや実務研修を実施し、情報の共有と業務への習熟を深めます。

実績

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

月～土 午前9時から午後9時まで

日・祝日 午前9時から午後5時まで

※年末年始（12月29日から1月3日）を除く

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

○建物共有部分管理として店舗・事務所管理組合が業者委託し実施した保守点検

・消防設備点検 年2回実施

・エレベータ点検 3か月に1回実施

・防火対象物点検 年1回実施

○建物占有部分管理として本会が業者委託した保守点検

・空調設備点検 年2回実施

※ファンコイルユニット点検／全熱交換器点検／プレフィルター清掃

・排水管洗浄清掃 年1回実施

<清掃業務について>

○建物占有部分管理として本会が業者委託して実施

・日常清掃／トイレ水回り等 1日1回実施 ※年末年始を除く

・床面の清掃（貸室及び事務局） 週1～2回実施

・拭き掃除 週1回実施

・定期清掃 年6回実施

カーペット洗浄 年2回実施（7月・1月）

床面清掃・ワックス仕上げ 年2回実施（7月・1月）

ガラス清掃（内面のみ） 年1回実施（5月）

ブラインド清掃 年1回実施（9月）

照明器具清掃 年1回実施（9日）

<警備業務について>

○建物全体の火災報知機通報先の警備会社に委託し実施

イ 苦情受付体制について

- ①苦情受付体制・方法:社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会苦情解決規程」に基づき苦情受付担当者および実務責任者を決め、責任を持って適切に対処できる体制をとります。
- ②苦情への対応手順:「本会苦情解決規定」及び「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会苦情解決規則」のシステムに基づき、解決を諮ります。この中で解決できなかった場合は、苦情解決調停委員（第三者委員）に苦情解決に係わる助言をいただき、円滑な解決を図りサービスの改善に努めます。
- ③利用者への周知方法:苦情受付担当者名と苦情実務担当者名、苦情解決までのフロー図、ご意見ダイヤル（横浜市コールセンター）の番号を拠点内に掲示します。また、拠点内団体交流室に「ご意見箱」を設置します。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

- ①連絡体制、マニュアルの整備状況:非常事態が発生した場合に速やかに連絡をとるための、緊急連絡表および「事故対応マニュアル」を更新し全職員と共有します。
- ②職員の役割分担:ビル全体の消防計画に沿って自衛消防隊を組織し、また拠点の消防計画も備えます。
- ③地域や関係機関との連携体制:西区役所が緊急に防災拠点・避難場所等として拠点を使用する必要があるときは、優先して避難者等の受入を行います。事務所が入居するビルの防災センターと平時より連絡体制を整えます。
- ④事故防止への取り組み:事故事例等を共有し事故防止への意識を高めます。また防災訓練を実施し、発災時の役割分担を職員全体で確認を行います。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①マニュアルの整備状況:「社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」「個人情報取扱業務概要説明書」「横浜市社会福祉協議会 個人情報の取扱マニュアル」を常備します。
- ②職員への周知:個人情報保護管理者および責任者を配置し、個人情報管理に対する職員の責任体制を明確にするとともに、全職員対象に個人情報保護についての研修を実施します。「横浜市社会福祉協議会 個人情報の取扱マニュアル」に記載された個人情報自主点検票を基に、自己チェックを行い個人情報管理の徹底を図ります。万が一、事故が発生した場合に適切に対処できるよう「事故対応マニュアル」目にとまる場所に備えます。
- ③日常の取り組み:新規利用団体登録時や講座等の応募者から取得した個人情報は、施錠できる書庫に管理します。個人情報取扱機器については、適正な保管、管理を行います。

オ 環境への配慮及び取組について

- ①事務所内でのごみの分別を徹底し、減量化に努めます。
 - ②法人・拠点内で使用する用紙、トイレトーパーは再生紙を使用します。また、ヨコハマ寄付本の回収ボックスを配置し、引き続き本のリサイクルに協力します。また、西区資源循環局の他、区内関係機関と連携し、家庭等における余剰食品等を集めて地域団体や生活困窮者へ配分し、フードロス削減の啓発と食品の有効活用を行います。（フードドライブ活動）
- 上記に加え、横浜市の脱炭素取組宣言の内容（エアコンの適切な温度設定、空調機器のフィルター掃除、公共交通機関の積極的な利用、ふんわりアクセルなどエコドライブの実践、LEDなど高効率照明への切替え、環境負荷の少ない資材等の優先購入や使用）を意識して業務を遂行します。

令和8年度 横浜市西区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	26,974,997	0	26,974,997	0	26,974,997	横浜市より
内 受領額	26,974,997		26,974,997		26,974,997	
内 戻入額					0	
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	531,120	0	531,120	0	531,120	
内 印刷代	450,000		450,000		450,000	
内 自動販売機手数料	60,000		60,000		60,000	
内 その他	21,120		21,120		21,120	事業者支払額の立替戻り
その他			0		0	
収入合計	27,506,117	0	27,506,117	0	27,506,117	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,747,000	0	11,747,000	0	11,747,000	
給与・賃金	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
社会保険料	800,000		800,000		800,000	法定福利費
通勤手当	700,000		700,000		700,000	
健康診断費	10,000		10,000		10,000	事務費福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000		7,000	
退職給付引当金繰入額	230,000		230,000		230,000	分担金
事務費	4,130,240	0	4,130,240	0	4,130,240	
旅費	3,000		3,000		3,000	
消耗品費	1,750,000		1,750,000		1,750,000	消耗器具備品、器具什器費、教養娯楽費
会議ठीい費	28,000		28,000		28,000	利用調整会議(手話通訳)
印刷製本費	99,000		99,000		99,000	利用申請書印刷
通信費	320,000		320,000		320,000	電話・インターネット・郵便代・システム関連経費
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
内 自販機目的の外使用料(横浜市への支出)	21,120		21,120		21,120	事業者支払額の立替分
内 その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	4,120		4,120		4,120	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	35,000		35,000		35,000	インターネットバンキング手数料、両替手数料
リース料	150,000		150,000		150,000	印刷機、大判プリンター、AED
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
その他	1,520,000		1,520,000		1,520,000	
事業費	155,000	0	155,000	0	155,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	155,000		155,000		155,000	
管理費	11,473,877	0	11,473,877	0	11,473,877	
光熱水費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
清掃費	1,540,000		1,540,000		1,540,000	
修繕費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	297,000		297,000		297,000	
設備保全費	1,004,710	0	1,004,710	0	1,004,710	
内 空調衛生設備保守	182,710		182,710		182,710	
内 消防設備保守	22,000		22,000		22,000	
内 電気設備保守	0		0		0	
内 害虫駆除清掃保守	0		0		0	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	800,000		800,000		800,000	RISO印刷機保守料
共益費	6,500,000		6,500,000		6,500,000	ファーストプレイス横浜管理費等
その他	332,167		332,167		332,167	配管洗浄等
その他	0		0		0	
支出合計	27,506,117	0	27,506,117	0	27,506,117	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
自主事業費 支出	155,000	0	155,000	0	155,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
自主事業 収支	△ 155,000	0	△ 155,000	0	△ 155,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	0	60,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	38,880	0	38,880	0	38,880	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。